

食と健康からまちづくりを考えよう

筑波大学・麻見直美先生とともに北本の食と健康についてのまちづくり講座。食と健康の関係を学び、第1回まちづくり講座(H21.4.5)で発見した北本の食の顔をふりかえります。その後、ディスカッションをとおして食と健康をテーマに北本のまちづくりについて考えます。

まちづくり講座スケジュール

	北本市文化センター1階展エントランスホール
16:00	● 講座開始、筑波大学からの報告 北本のまちづくりに関する活動の報告を筑波大学の学生がおこないます。また、麻見先生に講師を務めていただいた第1回まちづくり講座の内容をふりかえります。
16:30	● 麻見先生によるレクチャー 麻見先生から食と健康の関係、まちづくりとの関わりをレクチャーしていただきます。
17:30	● オープンディスカッション 参加者の皆さんの質問や意見を聞きながら、食と健康をテーマに今後の北本駅西口広場のあり方を考えるオープンディスカッションをします。
18:00	● 講座終了

第1回まちづくり講座の成果



写真：北本の野菜の直売所

平成21年4月5日におこなわれた第1回まちづくり講座(ウォーキングも同時に開催)では、参加者の方と共にマップと万歩計を片手に北本のまちをウォーキングしました。また、ウォーキングマップを作り、それをもとに北本の魅力を

議論しました。その結果、北本には河や雑木林などの自然、農家や野菜の直売所など、ウォーキングのスポットと呼べる場所がたくさんあることがわかりました。第1回の講座で講師をしていただいた麻見先生からは、ウォーキングは食べることと合わせて考えるとより楽しくなるというお話をしてもらいました。北本の野菜や直売所の情報を駅前にしめすことでウォーキングの拠点としての駅前広場の可能性が見えてきました。



写真：第1回まちづくり講座の様子

北本の農産物や専門店の市づくり



写真：市づくりワークショップ

平成21年7月17日、8月7日のあきんど市BARにて、北本高校の協力を得て北本で採れたトマトや専門店のチーズなどを販売する市づくりのワークショップを行ないました。まちづくりの一環として、北本の農家と商工会のつながりの強化や、市をとおして農家と市民の新しい関わりを模索することが目的です。わたしたちは、北本の食と健康は市とあわせて考えることで新たな可能性が広がるかも知れないと考えています。

講師紹介



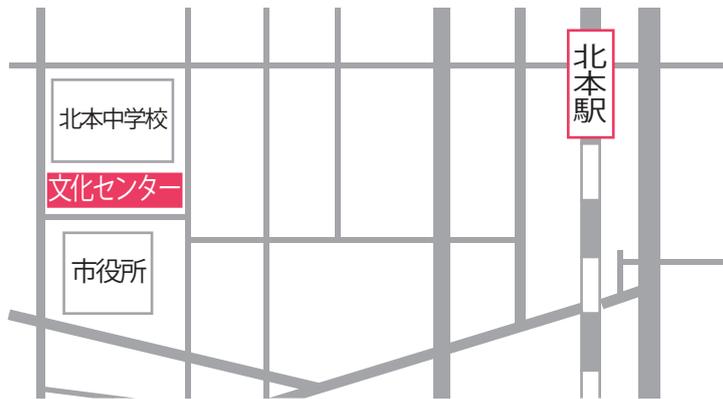
麻見直美/おみ・なおみ

1968年生まれ

日本女大学大学院人間生活学研究科終了
管理栄養士・学術博士

筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授

会場案内マップ(北本市文化センター)



北本らしい“顔”の駅前づくりプロジェクトとは

西口駅前広場は整備後30年経ち、施設の老朽化やバリアフリーへの配慮不足、交通の錯綜等が課題となっています。また、駅周辺の賑わいや空き店舗の問題、少子高齢化への対応も必要な状況です。駅周辺の課題を改善し、駅を活用したまちづくりを進めるため市民、地域プロデュースの専門家、行政が協働したまちづくりプロジェクトです。

顔プロ実行委員会への参加団体を募集しています

プロジェクトでは、地域のまちづくりに興味をもち、今後一緒に継続的に北本らしい“顔”の駅前づくりプロジェクトに関わっていただける団体を、随時募集しています。毎月、第4金曜日にKAO支援会議を開催しています。

■プロジェクトHP

<http://www.city.kitamoto.saitama.jp/sisaku/news/ekimae-zukuri.html>

■プロジェクトブログ (『北本 顔』で検索できます。)

<http://kitamotoekimae.seesaa.net/>